

報道機関各社様

市民まちづくり局市民生活部消費者センター Tel.728-2111 Fax728-2112
--

「家庭用エネルギー消費実態調査」の結果について

札幌市では、一般家庭におけるエネルギーの消費実態を把握し、当該価格及び需給の安定に資することを目的として標記調査を実施いたしました。

調査結果について下記のとおりとなりましたので、お知らせいたします。

記

1 調査概要

(1) 調査名称

平成 26 年度札幌市家庭用エネルギー消費実態調査

(2) 調査目的

積雪寒冷地である札幌市内の家庭用エネルギーの価格の安定及び安定供給の確保を図るため、札幌市内の一般家庭におけるエネルギーの消費実態を把握し、適切な行政施策を推進するための基礎資料とすること。

(3) 調査期間

平成 26 年 2 月～平成 27 年 1 月

(4) 調査対象

札幌市民 171 人

(5) 調査方法

郵送によるアンケート調査

(6) 回収結果

有効回答 150（回収率 87.7%）

(7) 調査対象世帯の概要

世帯の人数は「2 人」・「3 人」世帯が全体の 7 割以上を占め、年代構成は「成人」を含む世帯が 68.7%、次いで「高齢者」を含む世帯が 48.7%となっている。世帯の年収は「447 万円未満」が全体の約 5 割を占めている。家屋形態は「一戸建て」が 68.7%、「集合住宅」が 31.3%で、家屋構造は「木造」が 58.0%、次いで「鉄骨造」が 20.7%、コンクリート造」が 19.3%となっている

2 調査結果の概要

(1) 家庭用燃料の使用状況

ア 使用燃料（複数回答）

「電気（従量電灯）」が 88.7%と最も多く、次いで「灯油」が 78.7%、「都市ガス」が 38.0%、「プロパンガス」が 31.3%となっており、これらの燃料を単独あるいは併用して使用している。

イ 用途別主要燃料

「暖房用」は「灯油」の割合が 75.2%と最も高い。「調理用」は「都市ガス」

の割合が37.6%と最も高いが、その他「プロパンガス」「電気」もそれぞれ全体の約3割となっている。「給湯用」と「風呂用」は、それぞれ「灯油」が最も多く、次いで「都市ガス」の順となっている。「融雪用」は「灯油」と「電気（従量電灯・その他）」が二分している。「冷房用」は「電気（従量電灯・その他）」が約9割を占めている。

(2) 灯油について

ア 購入先について

「燃料店」が61.0%と最も多く、次いで「ガソリンスタンド」が17.8%となっている。

イ 購入方法について

「配達」が全体の約8割を占め、そのうち「配達(タンク容量200リットル以上)」が74.6%と最も多い。次いで「共同タンク(マンション等)」が18.6%となっている。

ウ 購入形態について

「個人購入」が全体の約6割を占め、そのうち「定期配送」が最も多い。また「共同購入」は、「注文配送」がなく、「定期配送」が18.6%となっている。

(3) プロパンガスについて

購入先は「燃料店」が80.9%と最も多く、次いで「生協」が12.8%となっている。

(4) 電気について

ア 契約形態について

「従量電灯」が88.7%と最も多く、「時間帯別電灯」及び「融雪用電力」がともに11.3%となっている。

イ 従量電灯の契約アンペアについて

「30～39A」が48.1%と最も多くなっている。

(5) 暖房使用期間について

ア 暖房使用終了月日

「5月上旬」が26.7%と最も多く、次いで「4月下旬」が19.3%、「4月中旬」が12.0%となっている。

イ 暖房使用開始月日

「10月下旬」が27.3%と最も多く、次いで「10月中旬」が24.0%、「11月上旬」が19.3%となっている。

(6) 使用暖房器具について

ア 使用している暖房器具（複数回答）

「灯油FF式」が33.3%と最も多く、次いで「灯油セントラル」と「電気ストーブ(ファンヒーター含む)」がともに24.7%、「灯油ポータブル(ファンヒーター含む)」と「電気パネルヒーター(オイルヒーター含む)」がともに15.3%となっている。

全体的に「灯油」と「電気」器具の使用割合が高い。

また、燃料別に多い暖房器具は、灯油では「FF式」、電気・都市ガスでは「ストーブ（ファンヒーター含む）」となっている。

イ 主に使用している暖房器具について

「灯油FF式」が27.3%と最も多く、次いで「灯油セントラル」が24.0%、「灯油ポット（煙突）式」が12.0%となっており、全体の約7割が灯油の暖房器具を使用している。

また、燃料別では、電気が「パネルヒーター」と「蓄熱暖房機」、都市ガスとプロパンガスが「ストーブ（ファンヒーター含む）」を主に使用している。

(7) 給湯機器について

「灯油煙突接続給湯器」が24.7%と最も多く、次いで「灯油FF式給湯器（エコフィール以外）」が20.7%、「電気温水器」が14.0%となっている。

また、燃料別では、都市ガスとプロパンガスが「FF式給湯器（エコジョーズ以外）」を主に使用している。

(8) 今後使用したい家庭用エネルギーについて

「暖房用・給湯用」は「灯油」が最も多く、次いで「都市ガス」がとなっている。

理由として、「灯油」では「価格が安い」「操作が容易」「供給が安定している」、「都市ガス」では「供給が安定している」「価格が安い」となっている。

「調理用」は「都市ガス」が最も多く、次いで「電気」「プロパンガス」の順となっている。「暖房用」・「給湯用」と比べて「電気」の割合が高くなっており、理由として、「安全性が高い」「操作が容易」となっている。

(9) 灯油の購入量及び支払金額について

灯油を使用している世帯は78.7%に当たる118世帯で、一世帯当たりの年間購入量は1,262.7㍓となっている。

月別購入量は「2月」が231.6㍓と最も多く、次いで「1月」が219.9㍓、「12月」が189.0㍓となっている。

人数別の一世帯当たりの年間購入量は「5人」世帯が1,743.6㍓と最も多くなっている。

家屋構造別の一世帯当たり年間購入量は「ブロック造一戸建」が1,760.6㍓と最も多くなっている。

一世帯当たりの月別支払金額は「2月」が23,307.1円と最も多く、年間の支払金額は119,873.6円で、月平均は9,989.5円となっている。

(10) プロパンガスの使用量及び支払金額

プロパンガスを使用している世帯は31.3%に当たる47世帯で、一世帯当たりの年間使用量は129.9m³となっている。

月別使用量は「1月」が14.3m³と最も多く、次いで「2月」が12.7m³、「3月」が12.6m³となっている。

人数別の一世帯当たりの年間使用量は「4人」世帯が263.7m³と最も多くなっている。

家屋構造別の一世帯当たり年間使用量は、「鉄骨造一戸建て」が247.3m³で最も多くなっている。

一世帯当たりの月別支払金額は「1月」が5,796.7円と最も多く、年間の支払金額は58,612.0円で、月平均は4,884.3円となっている。

(11) 都市ガスの使用量及び支払金額

都市ガスを使用している世帯は38.0%に当たる57世帯で、一世帯当たりの年間使用量は397.5m³となっている。

月別使用量は「1月」が67.3m³と最も多く、次いで「2月」が57.5m³、「3月」が48.4m³となっている。

人数別での一世帯当たりの年間使用量は「4人」世帯が842.6m³と最も多くなっている。

家屋構造別の一世帯当たりの年間使用量は「コンクリート造一戸建て」が924.7m³と最も多くなっている。

一世帯当たりの月別支払金額は「1月」が9,729.9円と最も多く、年間の支払金額は70,386.7円で、月平均は5,865.6円となっている。

(12) 電気(従量電灯)の使用量及び支払金額

電気(従量電灯)を使用している世帯は88.7%に当たる133世帯で、一世帯当たりの年間使用量は3,262.3kwhとなっている。

月別使用量は「1月」が361.3kwhと最も多く、次いで「2月」が317.5kwh、「3月」が284.9kwhとなっている。

人数別の一世帯当たりの年間使用量は「5人」世帯が7,041.0kwhと最も多くなっている。

家屋構造別での一世帯当たりの年間使用量は「ブロック造一戸建て」が4,500.0kwhと最も多くなっている。

一世帯当たりの月別支払金額は「1月」が11,692.6円と最も多く、年間の支払金額は96,765.0円、月平均は8,063.8円となっている。